

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of :
Tadaharu NABETANI :
Serial No. NEW : **Attn: APPLICATION BRANCH**
Filed June 30, 2003 : Attorney Docket No. 2003_0843A
GOLF CLUB PROTECTIVE COVER

CLAIM OF PRIORITY UNDER 35 USC 119

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

THE COMMISSIONER IS AUTHORIZED
TO CHARGE ANY DEFICIENCY IN THE
FEE FOR THIS PAPER TO DEPOSIT
ACCOUNT NO. 23-0975.

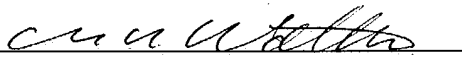
Sir:

Applicant in the above-entitled application hereby claims the date of priority under the International Convention of Japanese Patent Application No. 2002-192396, filed July 1, 2002, as acknowledged in the Declaration of this application.

A certified copy of said Japanese Patent Application is submitted herewith.

Respectfully submitted,

Tadaharu NABETANI

By 
Charles R. Watts
Registration No. 33,142
Attorney for Applicant

CRW/asd
Washington, D.C. 20006-1021
Telephone (202) 721-8200
Facsimile (202) 721-8250
June 30, 2003

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2002年 7月 1日

出 願 番 号
Application Number:

特願2002-192396

[ST.10/C]:

[JP 2002-192396]

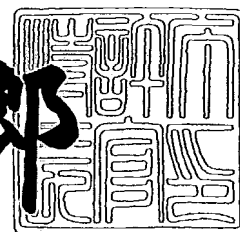
出 願 人
Applicant(s):

鍋谷 忠治

2003年 6月 4日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田 信一郎



出証番号 出証特2003-3043383

【書類名】 特許願

【整理番号】 KP05624-05

【提出日】 平成14年 7月 1日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 A63B 55/00

【発明の名称】 ゴルフクラブの保護カバー

【請求項の数】 2

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市平野区瓜破西1丁目11番58-1478号

【氏名】 鍋谷 忠治

【特許出願人】

【住所又は居所】 大阪府大阪市平野区瓜破西1丁目11番58-1478号

【氏名又は名称】 鍋谷 忠治

【代理人】

【識別番号】 100074206

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区日本橋1丁目18番12号 鎌田特許事務所

【弁理士】

【氏名又は名称】 鎌田 文二

【電話番号】 06-6631-0021

【選任した代理人】

【識別番号】 100084858

【弁理士】

【氏名又は名称】 東尾 正博

【選任した代理人】

【識別番号】 100087538

【弁理士】

【氏名又は名称】 鳥居 和久

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009025

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ゴルフクラブの保護カバー

【特許請求の範囲】

【請求項1】 可撓性と気密性を有するシートを用い、上部が閉鎖されて下部が開放するように形成された外袋と、この外袋と同様のシートを用いて上部閉鎖で下部が開放するように形成され、上記外袋内に納まる内袋からなり、上記外袋と内袋の間が気密の空気室になるよう外袋と内袋の下端部を互いに溶着し、上記外袋に空気室への空気の給排を行なうための開閉栓を設けたゴルフクラブの保護カバー。

【請求項2】 上記外袋と内袋が、外袋用となる一枚のシートと内袋用となる一枚のシートを互いに重ね合わせ、この重ね合わせシートを外袋用となるシートが外側となるように二つ折りにし、この二つ折りシートの両側縁を溶着することにより形成され、上記外袋用となるシートと内袋用となるシートの二組の下端部をそれぞれ別個に溶着することで、外袋と内袋の間に気密の空気室を形成した請求項1に記載のゴルフクラブの保護カバー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、キャディバッグ内に収納したゴルフクラブ及びフッドの損傷発生を防止する保護カバーに関する。

【0002】

【従来の技術】

ゴルフクラブは、キャディバッグ内に入れて運ぶことになるが、ゴルフクラブがキャディバッグ内で移動自在であると、キャディバッグが不意に転倒したような場合、地面との大きな衝撃により、ゴルフクラブのヘッドに傷がついたり、シャフトが折れるような損傷や、フッド自体が破れるという事態が発生する。

【0003】

また、宅配便や航空機等でゴルフクラブを輸送する場合においても、キャディバッグの取り扱いが乱暴であったり、他の荷物との接触等により、上記と同様の

損傷が生じる。

【0004】

従来、ゴルフクラブにヘッドカバーを被せたり、布や新聞紙等をゴルフクラブに巻き付けたり、フードの内部空間に詰めるようにしたり、実開平7-22767号で提案されているように、ゴルフクラブにヘッドカバーの間に介在させる筒状のクッション部材を用い、上記のような輸送時のゴルフクラブ及びフードの損傷を防止するようにしていた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、ヘッドカバーを被せただけでは、ゴルフクラブの移動を防ぐことはできず、キャディバッグが倒れたような場合の衝撃に対して、ゴルフクラブやフードを十分に保護することができないという問題がある。

【0006】

また、布や新聞紙等の使用は、巻きかたや詰めかたに工夫が必要であり、取り外した後の状態が嵩張るので、その処理に困ることになる。

【0007】

そこで、この発明の課題は、キャディバッグに入れたゴルフクラブに被せて空気で膨らませることにより、全ゴルフクラブを移動しないように保持することができ、しかも、外側を空気の層で覆うことにより、キャディバッグが転倒したり乱暴に取り扱われた場合でも、ゴルフクラブ及びフードの損傷発生を確実に防止することができるゴルフクラブの保護カバーを提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記のような課題を解決するため、この発明は、可撓性と気密性を有するシートを用い、上部が閉鎖されて下部が開放するように形成された外袋と、この外袋と同様のシートを用いて上部閉鎖で下部が開放するように形成され、上記外袋内に納まる内袋からなり、上記外袋と内袋の間が気密の空気室になるよう外袋と内袋の下端部を互いに溶着し、上記外袋に空気室への空気の給排を行なうための開閉栓を設けた構成を採用したものである。

【 0 0 0 9 】

上記外袋と内袋が、外袋用となる一枚のシートと内袋用となる一枚のシートを互いに重ね合わせ、この重ね合わせシートを外袋用となるシートが外側となるように二つ折りにし、この二つ折りシートの両側縁を溶着することにより形成され、上記外袋用となるシートと内袋用となるシートの二組の下端部をそれぞれ別個に溶着することで、外袋と内袋の間に気密の空気室を形成した構造とすることができる。

【 0 0 1 0 】

ここで、外袋用と内袋用のシートは、少し厚手で柔軟性に富むビニールのような合成樹脂シートを用い、保護カバーをキャディバッグに入れたゴルフクラブに被せて空気室に空気を注入すると、内袋は収縮することで全ゴルフクラブを中央に集めるように圧迫し、全ゴルフクラブの外形に沿うように変形して束ね状に保持する。また、外袋は膨満することで内袋の周囲に圧力空気の層を形成し、フードの内部に納まる大きさに膨らむことになる。

【 0 0 1 1 】

このように、保護カバーを膨らませると、内袋で全ゴルフクラブが移動しないように保持されると同時に、圧力空気の層がクッションになり、外袋はフードを内側から保護することになり、キャディバッグが転倒したり乱暴に取り扱われた場合でも、ゴルフクラブ及びフードの損傷発生を防止することができる。

【 0 0 1 2 】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施の形態を図示例と共に説明する。

【 0 0 1 3 】

図示のように、保護カバー 1 は、可撓性と気密性を有するシートを用い、上部が閉鎖されて下部が開放するように形成された外袋 2 と、この外袋 2 と同様のシートを用いた、上部が閉鎖されて下部が開放するように形成された内袋 3 からなり、上記外袋 2 と内袋 3 の間に気密の空気室 4 を形成し、外袋 2 に空気室 4 への空気の給排を行なうための開閉栓 5 が設けられている。

【 0 0 1 4 】

上記外袋2と内袋3の形成に用いる可撓性と気密性を有するシートとしては、少し厚手で柔軟性に富むビニールのような熱可塑性の合成樹脂シートを用い、外袋2と内袋3は、キャディバッグAに入れたゴルフクラブBの最も長いドライバーB1から最も短いパターB2までの全クラブのヘッドを覆うことができる程度の上下高さと幅を有する大きさに形成され、外袋2は、空気室4の膨満時にキャディバッグAのフードC内に納まるような大きさに設定されている。

【0015】

上記外袋2と内袋3は、外袋用となる帯状の一枚のシート2aと内袋用となる帯状の一枚のシート3aを互いに重ね合わせ、この重ね合わせシート2aと3aを外袋用となるシート2aが外側となるように長さ方向の中央部で二つ折りにし、この二つ折りしたシート2aと3aの合計四枚のシートが重なる両側縁を熱溶着aすることにより形成され、上記外袋用となるシート2aと内袋用となるシート3aの二組の下縁をそれぞれ別個に熱溶着bすることで、外袋2と内袋3の間に縦断面が下向きU字状となる気密の空気室4を形成している。

【0016】

上記保護カバー1は、空気を抜いた状態で図1のように、扁平な略角形の袋となり、これを折り畳むことにより嵩低くなり、格納が便利に行なえることになる。

【0017】

上記内袋3は外袋2に対して両側縁と下縁が熱溶着a、bされ、図2のように折り返した上端縁と対向する面間は外袋2と遊離した状態となっている。

【0018】

図示の場合、開閉栓5は外袋2の上縁中央に設けたが、外袋2に対するその取り付け位置は自由に選択することができる。

【0019】

この発明の保護カバーは、上記のような構成であり、キャディバッグAに入れたゴルフクラブBを運ぶ場合に、保護カバー1の外袋2と内袋3の熱溶着された共通の下端開口を開き、ゴルフクラブBのドライバーB1からパターB2のヘッドにわたって保護カバー1を被せ、この状態で開いた開閉栓5から空気室4内に

空気を注入し、保護カバー 1 を膨満させた状態で開閉栓 5 を閉じる。

【0020】

図 3 のように、保護カバー 1 は空気室 4 の内圧が高まることで、内袋 3 が収縮して全ゴルフクラブ B を中央に集めるように圧迫し、全ゴルフクラブ B の外形に沿うように変形して束ね状に保持すると共に、外袋 2 が膨満することで内袋 3 との間の周囲に圧力空気の層を形成した状態でフード C の内部に納まる大きさに膨らむことになり、この状態でフード C を閉じて保護カバー 1 を覆うようにし、ゴルフクラブ B の運搬に供する。

【0021】

上記のように、ゴルフクラブ B は、収縮した内袋 3 で束ね状に保持されているので、クラブ相互の移動の発生はなく、しかも内袋 3 の外側を包む圧力空気の層がクッションになり、膨満した外袋 2 はフード C を内側から保護し、したがって、全ゴルフクラブ B のヘッド部分を確実に外部の衝撃から保護することができ、キャディバッグ A が不意に転倒したり乱暴に取り扱われた場合でも、ゴルフクラブ B 及びフード C の損傷発生を防止することができる。

【0022】

また、ゴルフクラブ B の使用時は、開閉栓 5 を開いて空気室 4 の空気を抜くようにすればよく、空気が抜けると内袋 3 は初期の形状に復元し、外袋 2 は収縮することで、ゴルフクラブ B から保護カバー 1 を上方に抜くことができ、空気を抜いた保護カバー 1 は偏平にして、これを複数に小さく折り畳めば、嵩張らないのでキャディバッグ A のポケット等に格納することができ、再使用に便利である。

【0023】

【発明の効果】

以上のように、この発明によると、可撓性と気密性を有する外袋と内袋の下端部周囲を互いに溶着し、外袋と内袋の間に気密の空気室を形成し、上記外袋に空気室への空気の給排を行なうための開閉栓を設けたので、ゴルフクラブに被せた状態で空気室に空気を注入して膨らませると、収縮した内袋がゴルフクラブを束ね状に保持してクラブ相互の移動の発生はなく、しかも、外側を包む圧力空気の

層がクッションになり、かつ、膨満した外袋はフードを内側から保護し、これにより、キャディバッグに入れた全ゴルフクラブのヘッド部分を確実に外部の衝撃から保護することができ、キャディバッグが不意に転倒したり乱暴に取り扱われた場合でも、ゴルフクラブ及びフードの損傷発生を確実に防止することができる。

【0024】

また、保護カバーは空気を抜くと偏平になり、これを小さく折り畳めば嵩張らないので、キャディバッグのポケット等に格納することができ、格納や再使用に便利である。

【図面の簡単な説明】

【図1】

この発明に係る保護カバーの一部切り欠き正面図

【図2】

(A) は図1の矢印 a-a に沿った縦断側面図、(B) は図1の矢印 b-b に沿った横断平面図

【図3】

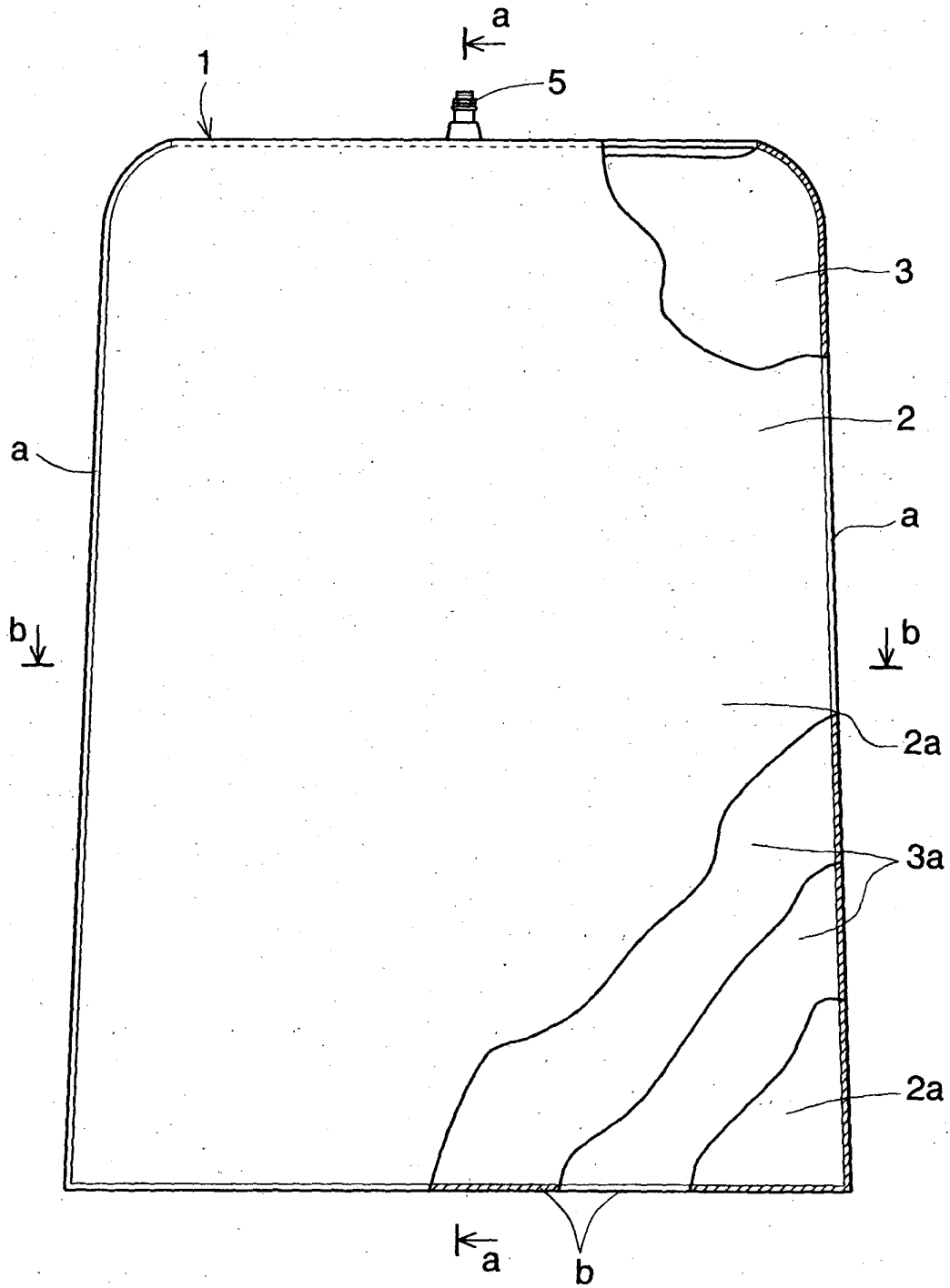
この発明に係る保護カバーを使用してゴルフクラブのヘッド部分を保護した状態の縦断正面図

【符号の説明】

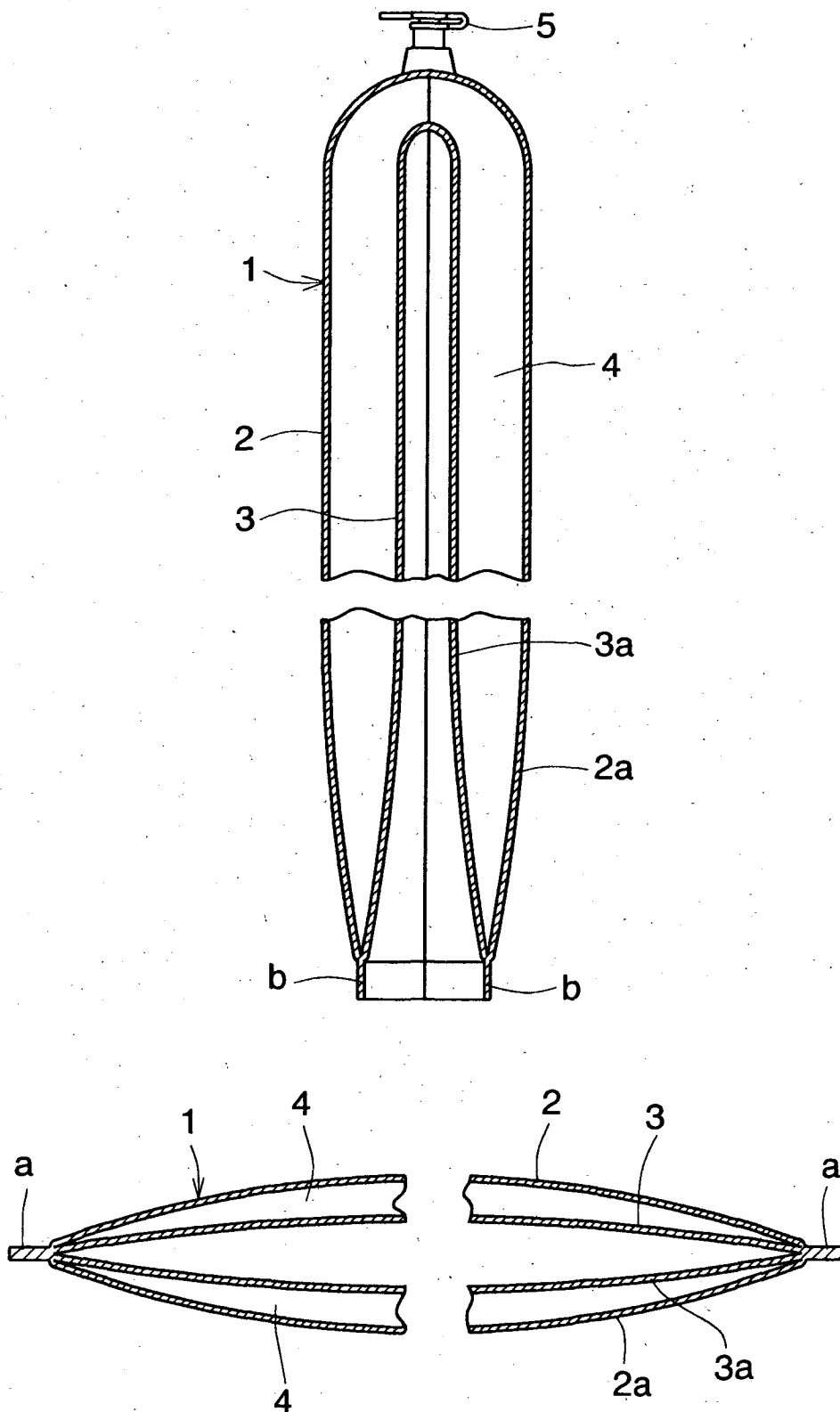
- 1 保護カバー
- 2 外袋
- 3 内袋
- 4 空気室
- 5 開閉栓
- A キャディバッグ
- B ゴルフクラブ
- C フード

【書類名】 図面

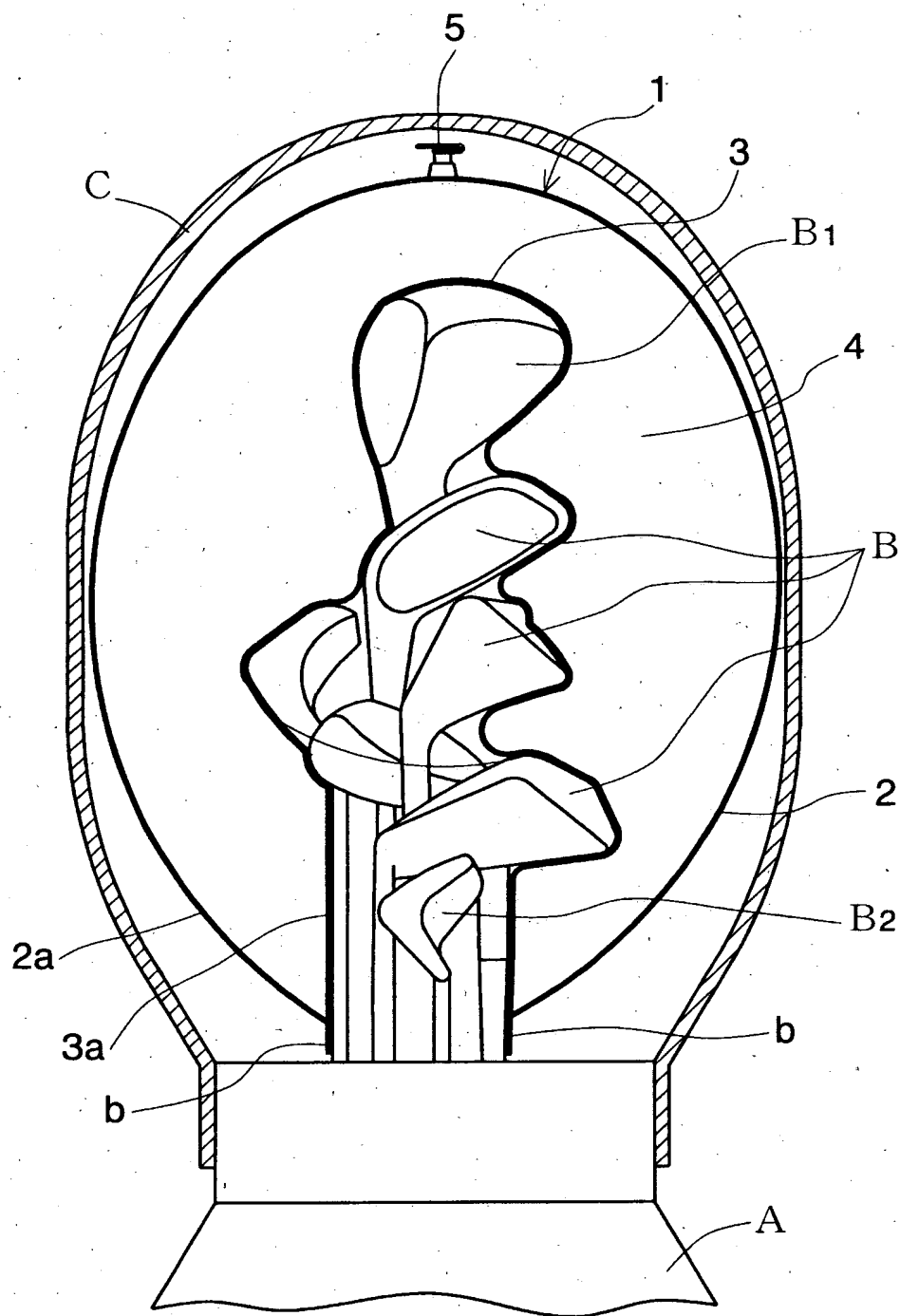
【図1】



【図2】



【図3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 キャディバッグに入れた全ゴルフクラブを移動しないように保持することができ、しかも、外側を空気のクッション層で覆うことにより、キャディバッグが転倒したり乱暴に取り扱われた場合でも、ゴルフクラブ及びフードの損傷発生を確実に防止することができる保護カバーを提供する。

【解決手段】 可撓性と気密性を有するシートを用いた外袋2と内袋3からなり、上記外袋2と内袋3の間が気密の空気室4になるよう外袋2と内袋3の下端部周囲を互いに溶着し、上記外袋2に空気室4への空気の給排を行なうための開閉栓5を設け、ゴルフクラブBに被せて空気室4を膨らませることで、全ゴルフクラブBのヘッド部分とフードCを確実に外部の衝撃から保護する。

【選択図】 図3

【書類名】 手続補正書
【提出日】 平成14年 7月16日
【あて先】 特許庁長官 殿

【事件の表示】

【出願番号】 特願2002-192396

【補正をする者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市平野区瓜破西1丁目11番58-1498号

【氏名又は名称】 鍋谷 忠治

【代理人】

【識別番号】 100074206

【弁理士】

【氏名又は名称】 鎌田 文二

【電話番号】 06-6631-0021

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許願

【補正対象項目名】 発明者

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市平野区瓜破西1丁目11番58-1498号

【氏名】 鍋谷 忠治

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 特許願

【補正対象項目名】 特許出願人

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許出願人】

【住所又は居所】 大阪府大阪市平野区瓜破西1丁目11番58-1498号

【氏名又は名称】 鍋谷 忠治

【その他】 願書中、発明者および特許出願人の「住所又は居所」の欄において、提出の包括委任状に記載のとおり「大阪府……1498号」と記載すべきところ、代理人の錯誤により「大阪府……1478号」と誤記して出願いたしましたため、今般その誤記を補正すべく本書を提出いたしますので、御受理賜りますようお願いいたします。

【提出物件の目録】

【物件名】 委任状 1

【援用の表示】 平成14年7月16日提出の包括委任状

【プルーフの要否】 要

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2002-192396
受付番号	50201042184
書類名	手続補正書
担当官	田中 則子 7067
作成日	平成14年 7月22日

<認定情報・付加情報>

【補正をする者】

【識別番号】	502236954
【住所又は居所】	大阪府大阪市平野区瓜破西1丁目11番58-1 478号

【氏名又は名称】	鍋谷 忠治
----------	-------

【代理人】

【識別番号】	100074206
【住所又は居所】	大阪府大阪市中央区日本橋1丁目18番12号 鎌田特許事務所
【氏名又は名称】	鎌田 文二

出 願 人 履 歷 情 報

識別番号

[502236954]

1. 変更年月日 2002年 7月 1日

[変更理由] 新規登録

住 所 大阪府大阪市平野区瓜破西1丁目11番58-1478号

氏 名 鍋谷 忠治

2. 変更年月日 2002年 7月16日

[変更理由] 住所変更

住 所 大阪府大阪市平野区瓜破西1丁目11番58-1498号

氏 名 鍋谷 忠治